

直接操作インタフェースを用いた動向情報の可視化

システムデザイン研究科情報通信システム工学専修 博士前期課程2年
 山田 隆志、高間 康史 Webインテリジェンス研究室
 yamada@krectmt3.sd.tmu.ac.jp

<概要>

1. 気温や降水量など、時間とともに値の変化する動向情報を探索的に可視化するシステムについて提案する。
2. 動向情報を時間的動向、空間的動向に分類し、それぞれ棒グラフと日本地図を用いて可視化することで、同じデータの異なる属性に関する探索的な分析を実現する。
3. システムとのインタラクションにはマウスによる簡便な直接操作を用いて行うことで、小学生などコンピュータスキルを伴わないユーザでも直感的に利用可能であると考える。
4. 探索的な可視化を実現する枠組みとして、現在広く利用されているOLAPを拡張した可視化キューブを提案する。
5. 可視化キューブに対する操作として、ドリルダウン、ドリルアップ、比較、遷移を定義する。

